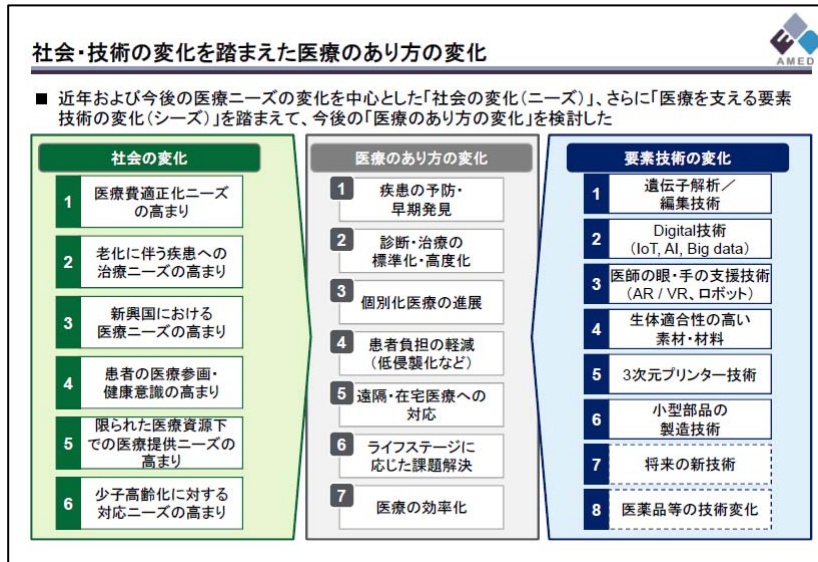


MDPRO ミニコラム：医療機器開発のあり方に関する検討委員会報告書が公表されました

社会環境が大きく変化する一方で、革新的技術が次々と登場しており、医療のあり方は大きく変化しようとしています。そういった中、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)において、「医療機器開発のあり方に関する検討委員会」が設置され、「医療機器開発の注目領域」と「AMEDにおける医療機器開発支援の方向性」についての検討が行われ、報告書が3月22日に公開されました。

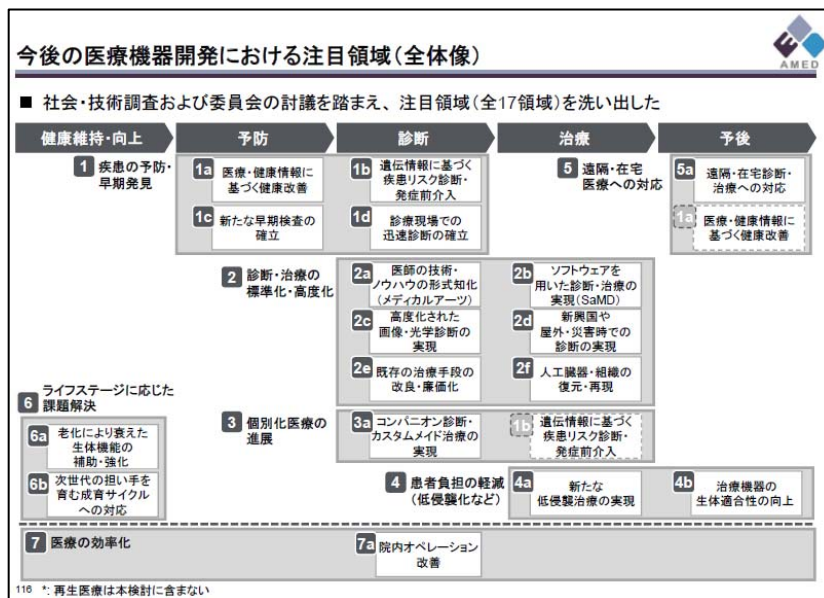
報告書では社会・技術の変化を踏まえて、医療のあり方の変化を検討しています(図表1参照)。

【図表1】



その上で、「今後の医療機器開発における注目領域」として17の領域を「健康・維持向上」から「予後」までを5つのセグメントに分け提示しています(図表2参照)。

【図表2】



報告書内では、各領域における日本企業のSWOT分析と注目領域への参入・取り組み強化に関する有望度(日本企業の潜在的優位性と2030年における市場規模)を試行的に評価していることから、医療機器企業にとっては製品開発に限らず、今後の事業展開の検討に当たって、参考となる報告書といえます。(医療機器政策調査研究所 木村 記)

<図表出所> 医療機器開発のあり方に関する検討委員会報告書

<https://www.amed.go.jp/content/000030187.pdf>